

答申（案）にいただいたご意見

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する県総合教育審議会の考え方
1	全体	答申案を拝読して時代の急速な変化に対応し、教育環境を充実させ一人一人の個性や主体性・多様性を活かし伸ばす教育を打ち出していることに期待している。	本審議会の答申を、次期教育ビジョンの策定に活かし、今後の教育施策を推進していただきたいと思ひます。
2	全体	学力・社会力・人間力の総合的な側面から、そしてこれまで培ってきた図書館教育やふるさと教育も入っており、島根らしさが前面に押し出されていてわくわくする内容が盛り込まれていると思ひました。	本審議会では、島根県が進めてきた教育の特質を踏まえ、審議し、今後およそ5年間を目途として島根県の教育がめざすべき姿を示しました。この答申を次期教育ビジョンの策定に活かしていただきたいと思ひます。
3	1. はじめに	「人格形成期の学校教育の時代が、子どものその後の人生にとって、特別な意味を伴って重要であることに変わりはない。地域での教育は、そのような意味で、一人一人の子どもに対して大きな責任を負っている」と記されているが、「そのような意味」とはどんな意味なのか分かりにくい。	ご意見を踏まえ、次のとおり記述を修正しました。 〔修正前〕 幼児教育に始まり初等・中等教育へと続く人格形成期の学校教育の時代が、子どものその後の人生にとって、特別な意味を伴って重要であることに変わりはない。地域での教育は、そのような意味で、一人一人の子どもに対して大きな責任を負っている。
4	1. はじめに	幼児教育から中等教育へと続く学校教育の時代は重要であるが、一人一人の子どもに対して大きな責任を負っているのは、学校教育や地域での教育だけではなく家庭教育や地域を超えたもっと広い社会の教育力としての社会のありようも重要であり大きな責任を負っているのではないか。もう少し多角的な視点から記述すべきではないか。	↓ 〔修正後〕 幼児教育に始まり初等・中等教育へと続く人格形成期の学校教育の時代が、子どものその後の人生にとって、特別な意味を伴って重要であることに変わりはない。 <u>この時期の家庭や学校の教育力が重要であることは言うまでもないが、これから島根県の教育を方向づける大切な視点として「地域社会の教育力」に注目する必要がある。</u>
5	2. 基本理念	「島根の発展を築いていく多様な人」について、「現状での島根の発展を築いている人」に着目してみると、県外出身者が島根に来て島根の発展に尽力されている例が数多くある。島根で教育を受けた子どもが、いつまでも島根のことを想い続けてくれることが大切であることは当然だが、島根で育った子どもが、どこで生活しようがその地域（島根以外の地域）の魅力を見出し幸せな人生を送ること、更にはその地域の発展を築く一助になるということも、「ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり」における大切な観点ではないか。そうした表現を、どこかに入れていただきたい。	ご意見の主旨は、「どこにいても島根を想う人」に含めています。 「島根を学びの原点として、自分のしたいこと、すべきことを発見し、地域社会や日本の将来、あるいは世界の未来にはばたく心豊かな人を育てたい」と記述しています。
6	2. 基本理念	理念はとても素晴らしいものだと思うが、実際の施策がその理念からどんどんかけ離れていくように感じる。たとえば先日発表された少人数学級を縮小させ、教職員の数を削減する施策は、働き方改革に逆行しているもの。もっと現場の声を聞いて策定して頂きたい。	パブリックコメントのほか、市町村教育委員会、各校種の園長会・校長会、教職員組合など教育関係団体へも意見照会を行い、いただいたご意見を踏まえ答申を策定しました。 答申の具体化については、県教育委員会に委ねたいと思ひます。

7	2. 基本理念	<p>「2. 理念」の中に、「SDGsを教育の中心に置く取組みも進められている」と言及されているが、本文には具体的なことが言及されていない。島根県でも、SDGsを念頭に置いた教育を図りたい。</p>	<p>本答申では、例えば「育成したい人間像(3)自然や文化を愛し、自他を共に大切に作る優しく強い人」の「育成したい力」の中に、SDGsに直接関連する力が含まれています。 答申の具体化については、県教育委員会に委ねたいと思います。</p>
8	2. 基本理念	<p>後段ではふるさと島根での学びを自らの原点にもち、将来の島根の発展を築いていく多様な人を育てることが教育の側からの人口減対策ではないかと記されている。 本県にとって人口減少は重要課題ではあるが、今後を見通した県の教育の在り方の基本理念の表現は、「人口減少」という政策課題を意識した人材育成としての教育に収れんするような印象がある。 幼児が目に見えるもの、手に触れるものなど自然や人の動きなど様々な周囲の状況等に好奇心や興味・関心をもつことから始まり、「なぜ」と感じながら外の世界に働きかけ自ら行動するところに「学びの原点」があるのではないか。「なぜ」の疑問から真理を探究するプロセスが「学び」であり、「学びの喜び」を体感することから子どもの主体的な活動が更に促進され、その主体的な活動を支援して育むことが教育の役割ではないか。 教育の成果として人口減少等の政策課題の解決につながることはあるが、政策課題を意識した教育は本来の教育のあるべき姿から遊離したものにならないか。 基本理念の表現は再検討すべきではないか。</p>	<p>「ふるさと島根を学びの原点にもつ」については、家族に愛され、地域の人々から愛されて育つこと、また地域の資産を直接体験することの中から、自己肯定感が育ち、そこを原点として、地域社会や日本・世界の発展を築いていく人につながるととらえています。</p>
9	2. 基本理念 3. 育成したい人間像 育成したい力	<p>「基本理念」や「育成したい人間像 育成したい力」には、不登校、いじめ問題、特別支援教育に関する記述がないが、これらは現在及び近未来においても学校教育の中心的な課題であるはずであり記述すべきである。</p>	<p>不登校、いじめ問題、特別支援教育といった語を用いてはませんが、そうしたどの子どもにも関係する教育課題の重要性も踏まえて、「人間像(2)人とのかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人」「人間像(3)自然や文化を愛し、自他を共に大切に作る優しく強い人」及びそれらに関連する「育成したい力」を提言しております。 答申の具体化については、県教育委員会に委ねたいと思います。</p>

10	3. 育成したい人間像 育成したい力	<p>「はじめに」には、「教育の力を地域の力に、地域の力を教育の力にする教育活動」によって一人一人の子どもの学びに向かう意欲を引き出し、生きる力を育む『教育の魅力化』を展開し」と記されているが、「育成したい人間像 育成したい力」には、「生きる力」については人間力を育む説明として「心豊かに生きる、生きる力を育む」と記されている。</p> <p>「生きる力」とは、「心豊かに生きる、生きる力」だけではなく、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力づくりなど「知的能力的要素」、「社会・対人関係力的要素」、「自己制御的要素」の3つの要素で構成され、個人が自立し、社会で生きていく上で重要な総合的な力として捉えるべきではないか。</p> <p>「生きる力」を育む教育の重要性は今後も変わらないと思われることから、「生きる力」について分かりやすく記述すべきではないか。</p>	<p>従来から提言されている「生きる力」の内容については、その構成を踏まえた上での、「人間像」「育成したい力」としています。</p>
11	3. 育成したい人間像 育成したい力	<p>本答申でも、基本的には学力、社会力、人間力の3つの観点から、子どもの育ってほしい姿（今後の社会を生き抜く上で育成することが望まれる人間像）を示すこととされているが、人はそれぞれ資質、能力が異なる多様な個性があり、県が特定の観点から望ましい人間像を示し、教育の目標とすることは、画一的な人間を育成することになりかねない。</p> <p>望ましい人間像を示すのではなく、育成すべき能力にとどめるべきではないか。</p>	<p>審議会は、県教育委員会から本県教育の基本理念や施策の方向性をまとめる次期教育ビジョンの根幹をなす今後を見通した本県教育の在り方について提示することを求められています。</p> <p>そのため、答申では、基本理念、育成したい人間像、育成したい力、充実させたい教育環境について提示することとしました。</p>
12	3. 育成したい人間像 育成したい力	<p>現行の教育ビジョンでは、教育目標として学力、社会力、人間力の3つの力を想定し、人間力を備えた人物像については、「自他を等しく大切にし、共に生きようとする人」とされている。</p> <p>内閣府が発表した人間力戦略研究会報告書では、人間力とは「社会を構成し、運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義し、「知的能力的要素」、「社会・対人関係力的要素」、「自己制御的要素」の3つの要素で構成され、個人が自立し、社会で生きていく上で重要な能力とされている。</p> <p>人間力は学力・社会力や自他を共に大切にする豊かな人間性等を包含した総合的な力のように思われることから、本答申の人間力については別の表現を検討すべきではないか。</p>	<p>本答申は、現行の教育ビジョンを引き継ぐ観点から、学力、社会力、人間力の3つの観点から、子どもの育ってほしい姿を示すこととしました。</p> <p>他の2つの力に比べ、人間力はより広範な力であることはご指摘のとおりです。</p>

13	3. 育成したい人間像 育成したい力	<p>「育成したい人間像 育成したい力」には、キャリア教育について記述されていない。</p> <p>高校卒で半数近く、大学卒で3割が就職後3年以内に離職するような状況がある。</p> <p>地域や社会の未来を支えるためには、職業を通じて実現することが基本となり、生きる力とは確かな学力、豊かな人間性、健康・体力づくりとともに経済的な自立が不可欠であり、学校教育において児童生徒の勤労観や職業観を育むとともに職場体験やインターンシップ等を通じて産業社会の現状や課題等について考え認識を深めるキャリア教育が重要かつ不可欠であり、キャリア教育により育まれる力について記述すべきである。</p>	<p>キャリア教育という語は用いていませんが、「人間像(2)人とのかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人」、「人間像(3)自然や文化を愛し、自他を共に大切にする優しく強い人」には含まれており、キャリア教育の具体化については、県教育委員会に委ねたいと思います。</p>
14	3. 育成したい人間像 育成したい力  (1)自らの課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人	<p>全国に先駆けて教科書の撤廃を行いタブレットでの授業を取り入れてはどうか。ITリテラシーを全てが向上する。</p>	<p>具体的な施策については、県教育委員会で検討してもらいたいと考えます。</p>
15	3. 育成したい人間像 育成したい力  (1)自らの課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人	<p>育成したい力には様々な能力が列記されており、「主体的に学力を育む」という目標が薄まっている。基礎学力や基礎体力・生活習慣は主体的に学ぶ力を育むための手段の一要素と考えられる。そして、課題発見・探求力や情報処理能力、表現力、思考力は主体的に学ぶ力を身につけた上で、さらに身に付けていくべき具体的な能力である。何が一番の目標で、何が手段であるかを整理して頂きたい。</p>	<p>育成したい力については8つの力が相互に関係・循環しながら主体的な学びの育成につながるものと考えています。</p> <p>教育の目標や内容を、一律に目的と手段の関係にあてはめることは難しいと思います。</p>
16	3. 育成したい人間像 育成したい力  (2)人とのかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人	<p>見出しにおいて「関わりやつながりを大切にし」「新たな社会を創造する」という2つの能力が併記されている。しかし、コミュニケーション能力は、社会に貢献するための力の一つであると考えられる。特性により、コミュニケーション能力が低い子どももいるが、他の能力を生かして社会に貢献することができる。</p> <p>2の見出しは、「社会を創造する人」とするよりも「社会に貢献する力」で良いのではないか。</p>	<p>「社会に貢献する」は、「新たな社会を創造する人」に含まれると考えています。</p> <p>一人一人の能力を最大限に伸ばし、社会に貢献し、新たな社会を創造する人を育成したいと考えます。</p>
17	3. 育成したい人間像 育成したい力  (2)人とのかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人	<p>&lt;育成したい力&gt;には様々な能力が列記されているが、これらすべてを一人の人が育んでいくべきということではないだろう。コミュニケーション能力、リーダーシップ、フォロワーシップ等、様々な方向性を提示し、その中で、個性に応じて伸ばせるものを伸ばしていくということではないだろうか。</p>	<p>育成したい力は、それぞれの個性や特性に応じて育んでいく力であり、すべての子どもに一律に育成すべき力ではないと考えています。</p>

18	<p>3. 育成したい人間像 育成したい力</p> <p>(3) 自然や文化を愛し、自他を共に大切にす優しく強い人</p>	<p>自然や文化を愛し、自他を共に大切にす優しく強い人」に関する「育成したい力」には、文化を味わうことができる感性、文化を守り継承していく力、日本や世界の多様な文化を知ろうとする力について記述されているが、美術や音楽等の芸術に関する記述がされていない。</p> <p>学校教育の時代はもとより生涯に渡り芸術は人が生きていく上で大きな力を与えてくれるものであり、芸術を味わう感性や新たな芸術を生み出す創造力を育む教育が重要であり、「育成したい力」の中に記述すべきである。</p>	<p>答申においては、芸術は文化の中に含めていません。</p>
19	<p>3. 育成したい人間像 育成したい力</p> <p>(3) 自然や文化を愛し、自他を共に大切にす優しく強い人</p>	<p>この項目は人間力に関する記述であるが、人間力にまず大事なものは自らを大切にす能力で、次に、他者や環境等に思いをやる想像力と考えられる。この項目の中に、「知ろうとする力」「伝えていく力」が含まれているが、これらは「社会力」の一要素なのではないか。「人間力」はあくまでも自他を大切にす能力であり、これは大事な能力であるから、他の要素を入れて薄める必要はないと考える。</p>	<p>「人間像(3)自然や文化を愛し、自他を共に大切にす優しく強い人」では、多様な観点から総合的に人間力を捉えて記述しています。</p>
20	<p>4. 充実させたい教育環境</p>	<p>「1. はじめに」では、教育魅力化とは何かが次のように述べられ、教育の力を地域の力に、地域の力を教育の力にする教育活動などや、「2. 理念」では、ふるさとを原点に、自分のしたいこと・すべきことを発見し、地域社会や日本の将来、世界の未来に羽ばたこうとする心豊かな人を育てるという理念が掲げられている。</p> <p>これらは大変重要なことと感じているが、3の育みたい力の方法論が4であるのに具体的な施策の方向性が見えなかった。</p> <p>自然・地域での体験が確かな学びに繋がり、他者への想像力を育み人間力を高め、また、地域で頑張る大人と接する体験が故郷を愛する心につながると考えられる。このように、「地域社会や自然のなかでの様々な体験を子供に与えていくこと」を、4. 「充実させたい教育環境」の中でも記載していただきたい。</p>	<p>「4. 充実させたい教育環境」は、方法論でなく「教育環境」について記述しています。</p> <p>「(3)地域や社会・世界に開かれた教育」は、ご意見のような内容を含むものですが、その具体化については、県教育委員会に委ねたいと思います。</p>
21	<p>4. 充実させたい教育環境</p>	<p>子供の多様な体験について</p> <p>様々な体験をさせることも、3の人間像を実現するための重要な要素である。自然・地域での体験が確かな学びに繋がり、他者への想像力を育み人間力を高め、地域で頑張る大人と接する体験が故郷を愛する心につながる。はじめに描かれた「地域社会とのかかわりやつながりを固有の教育資源として再開発し活用する」ということを、4の教育環境の中でも述べていただきたい。</p>	<p>自然・地域での体験の重要性については、「人間像(3)自然や文化を愛し、自他を共に大切にす優しく強い人」と、その「育成したい力」に記載しており、その具体化については、県教育委員会に委ねたいと思います。</p>

22	4. 充実させたい教育環境	<p>地域に密着した教育環境の充実</p> <p>「4. 充実させたい教育環境」では、学校・家庭・地域が協働して、4つの柱を中心とした教育環境を充実させると記述されている。また、理念では、地域との関わりの中での教育の重要性が述べられ、ここでも地域の役割の重要性が記載されている。近年、少子化を背景とした学校統廃合が進んでいるが、地域と密接に結びついた学校で行われる教育の意義は大きい。安易な統廃合に走らず、地域の中で子どもを大切にす教育も進展して頂きたい。</p>	<p>「地域社会とのかかわりやつながり」を、固有の教育資源として再開発し活用することで、子どもが主体的な学びを引き出すことや、地域の人々から大切にされて育つことの中から子どもの自己肯定感が育つことなどを、「1. はじめに」「2. 基本理念」に記述しています。</p> <p>なお、学校の統廃合については、地域の実情を踏まえ、市町村教育委員会、県教育委員会において適切に検討していただきたいと思ひます。</p>
23	4. 充実させたい教育環境	<p>地域・家庭の教育力の向上について</p> <p>家庭・地域の関わりについて、近年では、大人が子どもの行うことに手出しをしすぎる過干渉により子供の主体性・自己効力感が低下している場合もあると考えられる。</p> <p>このように、家庭・地域で「良かれ」と思ってやっていることが、子供の成長のために悪影響を与えている場合もある。過干渉ではなく、見守る教育が大事である。子供への関わり方について、地域・家庭の様々な人が共通理解をし、子供に関わっていきけるよう、啓発の機会を増やしていくべきである。そのような地域・家庭教育の支援についても、教育環境の充実の中で記載していただきたい。</p>	<p>地域や家庭における子どもへの関わり方については、大切な視点であると考えます。</p> <p>地域・家庭の教育の支援の具体化については、県教育委員会に委ねたいと思ひます。</p>
24	5. おわりに	<p>「しまね留学」の取組により県外から県立高校への入学者が増加し教育の魅力化の成果とされている。「地域との協働による教育」が、学力、社会力、人間力の育成につながるとして、ふるさと教育や地域課題解決型学習に取り組まれているが、義務教育においては、ふるさと教育や地域と連携した取組は主に「総合的な学習の時間」での取組として実施され必ずしも十分な学習時間がとれないのではないかと。</p> <p>教育の魅力化の取組は重要であり、県立高校への入学者の増加等大きな成果があると思われるが、教育の魅力化の取組については、多角的な視点から検討する必要がある、主に学校教育の中心となる各教科の学習において、児童生徒の発達段階に応じた教材研究や指導法の改善等により児童生徒がワクワク・ドキドキするような、授業に自然に惹きつけられるような魅力ある授業内容にすることも重要ではないかと。</p> <p>今後の教育魅力化の方策については、「地域との協働による教育」に限定することなく、多角的な視点から検討して記述すべきではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり教育の魅力化は、子どもたちが惹き付けられるような魅力ある授業内容であることが重要だと考えます。</p> <p>ご意見にあります多角的な視点からの検討については、県教育委員会において適切に対応してもらいたいと思ひます。</p>

25	5. おわりに	<p>県外からやってくる多くの生徒や保護者にとって、島根の教育の何が、どのように、教育の価値として魅力的なのか—その分析結果を、今後は、真に島根の教育の力としていく段階に入っていると記されているが、分析結果は資料として添付されていない。</p> <p>島根の教育魅力化の取組の評価の根拠としての分析結果を答申案の資料として添付すべきである。</p>	<p>教育の魅力化の分析結果は、今後、まとめられるとのことです。</p> <p>その分析結果を、今後の施策に反映していただきたいと考えます。</p>
----	---------	--	--